

平成26年6月定例会の概要

6月定例会は、平成26年6月9日（月）から23日（月）までの会期15日間の日程で開催しました。

今定例会では市長から提案された、2億4177万円の補正予算をはじめ13議案を審議し、それぞれ認定、可決するとともに5件の人事案件に賛成しました。また、報告7件を審議しました。

議員から提出された3件の意見書を国会および関係行政庁に送付しました。ここでは、補正予算特別委員会での一般会計補正予算審査の内容を紹介いたします。

質疑の抜粋（補正予算特別委員会）

【総務費】

駅前東館跡地活用

問 駅前東館跡地活用について、計画が完了するまで市民の声を聞く場は設けないとのことだが、計画が決まってから設けるという理解でよいのか。

答 市民の声はこれまでアンケートの中で聞いてきた。市民への説明は、方針がでた段階で実施する。

駅前東館跡地活用に



補正予算審査の様子

【民生費】

統合校の児童クラブ

問 統合校の南方小学校に放課後児童クラブを新設する提案だが、地域の

答 本市としては、駅前東館跡地がにぎわいに資する場所として開発がされることを第一とし、民間が自由に開発するという訳ではなく、市としての条件を示した上で、決定していきたい。

【衛生費】

産後早期ケア支援事業

問 産後ケアの本市の実態と、今後の事業の考え方について。どこへ委託するのか。

答 「産後うつ」の聞き取り調査では、430人の内、約14%の方がリスクが高い。産後早期の支援を行う。三原赤十字病

院へ訪問の一部を委託する。

ついて民間開発を優先した場合、本市から開発案件を提示するはずだがその理解でよいのか。民間の採算性が合わない場合、その条件を守らない、もしくは緩和することがあるのか。

答 本市としては、駅前東館跡地がにぎわいに資する場所として開発がされることを第一とし、民間が自由に開発するという訳ではなく、市としての条件を示した上で、決定していきたい。

【商工費】

緊急雇用創出基金事業

問 緊急雇用創出基金事業について問う。

答 県の緊急雇用創出基金を活用し地域ひとつづつ事業として行う。「三原観光産業（スイーツ・カフェ）振興事業」として従業員への処遇の改善を目指す。市内全域の事業所を対象として取り組んでいく。

【消防費】

自主防災組織

問 本市では、自主防災組織率の向上を目指しているところだが、組織立ち上げ時に最低限備えておかねばならない資機材等を示したマニュアルのようなものはあるのか。

答 設立時の、補助制度を設けている。この中で、資機材の例示をしているが、地域毎の課題によって必要資機材等は違うの



でこれが全てではない。

【教育費】

非常勤講師

問 学級経営が困難な場合、市費で非常勤講師を措置できないか。

答 市費を充てていく予定はないが、学校状況を踏まえながら他の非常勤職員等を充てるなどして対処していく。

問 本郷地域の統合前の小学校で、非常勤講師をつける教科は何か。

答 単式での授業の方が教育的効果がある国語・算数・理科・社会などに充てる。

来年度は県費で措置される予定である。

ドリーム・ベースボール開催事業

問 今年はカープの2軍の公式戦を行ったが、なぜまたドリーム・ベースボールを行うのか。

答 開催の目的は、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することであり、スコアボードの電光掲示化も重ねて市民にPRしたい。

【その他】

ポポロ倒木事故を受

け、樹木の伐採費用、合計279本分、770万円が予算計上される。緊急点検で今後処置を要する必要と判断された526本との差異206本については、緊急性を鑑み、今後の補正予算等で対応する。

討論・採決

【討論】

反対討論

駅前東館跡地活用について、「まちづくり戦略検討会議」からの提案を具体化するためのコンサル委託料870万円は認めるべきではない。市長がすべきことは市民の総意を汲みつくして「駅前づくり」を進めることだと考える。

【採決】

採決の結果、一般会計補正予算は賛成多数で可決した。

※議決の結果は15ページ及び三原市議会ホームページ内の「議決結果」をご参照ください。今回から、賛否が分かれたもの・賛成全員のもの区別して載せています。